

東京大学大学院農学生命科学研究科
微生物エコテクノロジー社会連携講座 特任助教 公募

1	職名及び人数	特任助教（特定有期） 1 名
2	採用予定日	令和7年4月1日（予定）
3	任期	令和8年3月31日まで 予算の状況、業務の必要性及び勤務成績の評価に基づき令和11年3月31日までを限度として更新する場合があります（更新する場合は1年毎に行う） 更新は、予算の状況、従事している業務の進捗状況、契約期間満了時の業務量、勤務成績、勤務態度、健康状況等を考慮のうえ判断する。
4	勤務地	東京都文京区弥生1-1-1 弥生キャンパス (アグロバイオテクノロジー研究センター 環境保全工学研究部門)
5	所属	応用生命工学専攻 微生物エコテクノロジー社会連携講座 変更の範囲：本学の指定する場所（配置換又は出向を意に反して命じられることは原則ない。詳細は東京大学教員の就業に関する規程第4条による。）
6	業務内容	1) 環境サンプル由来の分解菌のスクリーニング 2) 分解菌の機能解析 変更の範囲：配置換、兼務及び出向を命じることがある（意に反して命じられることは原則ない。詳細は東京大学教員の就業に関する規程第4条による。）
7	就業時間	専門業務型裁量労働制（1日7時間45分働いたものとみなされます。）
8	休日・休暇	土・日、祝日法に基づく休日、年末年始（12月29日～1月3日） 年次有給休暇、特別休暇、忌引休暇 等
9	給与□	年俸制を適用し、業績・成果手当を含め 月額 350,000 円～
10	諸手当	通勤手当（支給要件を満たした場合）
11	社会保険等	文部科学省共済組合、雇用保険（法令の定めるところにより加入）
12	応募資格□	1) 博士号取得者（または採用日までに取得見込の者） 2) 細菌の培養や遺伝子操作の経験があること 3) 嫌気性細菌の取り扱い経験があることが望ましい
13	提出書類	1) 履歴書（東京大学統一履歴書を以下のURLからダウンロードし作成すること。） https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/jobs/r01.html 2) 業績リスト（投稿予定のものを含めてもよいが、その場合は投稿などの状況を説明する文章を付けること） 3) 主要論文別刷5編以内 4) 研究経歴書 5) プロジェクトに参加した場合の抱負（自分の研究歴に基づくアピール） 6) 照会可能な方2名の氏名、所属、電子メールアドレス
14	応募締切	令和7年1月31日（金）必着 書類選考の上、合格者に対し面接を実施します。
15	書類送付先 及び 問い合わせ先	〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1 東京大学大学院農学生命科学研究科附属アグロバイオテクノロジー研究センター 環境保全工学研究部門 担当：野尻秀昭 TEL: 03-5841-3067 E-mail: anojiri[at]g.ecc.u-tokyo.ac.jp（[at]は@に置き換えてください） 封筒に「特任助教 応募書類在中」と朱書し、記録が残る方法で送付のこと。 海外からの応募の場合は、応募書類の電子媒体の送付も可とする。送付の前に、一度上記メールアドレスへ連絡し、具体的な送付手順を確認してから送付すること。
16	特記事項	1) 試用期間あり（採用日から14日間）
17	募集者名称	国立大学法人東京大学
18	その他	応募書類は返却いたしませんので、予めご了承ください。 取得した個人情報、本人事選考以外の目的には利用しません。 東京大学は男女共同参画を推進しており、女性の積極的な応募を歓迎します。 受動喫煙防止措置の状況：敷地内禁煙（屋外に喫煙場所あり） 採用時点で、外国法人、外国政府等と個人として契約している場合や、外国政府等から金銭その他の重大な利益を得ている場合、外為法の定めにより、一定の技術の共有が制限され、結果として本学教職員としての職務の達成が困難となる可能性がある。このような場合、当該契約・利益については、職務に必要な技術の共有に支障のない範囲に留める必要がある。